



Q/R Seat Molding Manual



使用上の注意

互換性と安全性：

- 1.本製品はシートピン(六角固定ねじ)を使用した全ての製品に対応いたします。
(調整には2mmのアーレンキーが必要です。)
- 2.クイックレリーズ(Q/R)がきちんと固定されていないと、乗車の際、サドルが左右に動いてしまい危険です。安全のため車前にQ/Rレバーが確実に締まっているかをご確認下さい。
- 3.座席の取付けは、フレームのチューブに沿って上下に調整することができます。調整できる角度は、垂直ではなく前傾方向です。本取扱説明書の写真を参照下さい。
- 4.ご乗車前には必ず本取扱説明書を参照いただき、座席調整後は全てのクランクや固定部品が正しく取付け固定されていることをご確認下さい。
- 5.座席取付けの際、フレームのチューズ付近にアクセサリーの装着やステッカーなどが貼付されいると、調整の妨げになりますので取り除いて下さい。
- 6.座席の取付け付近やシートチューブ上に潤滑油など使用しないで下さい。正常な座席の固定力が得られません。
- 7.危険を伴いますので、通常以外の乗り方(衝撃、ウィリー、縁石ジャンプなど)は絶対しないで下さい。
- 8.本製品は座席の高さ調整を容易に行えるアクセサリーです。調整の際、スライドすることによって摩擦でフレーム表面にキズをつける可能性があります。
- 9.製品の仕様変更や改造を加えることは大変危険ですのでしないで下さい。
- 10.本製品をおいくことで、ご利用いただくお客様が容易に座席の高さ調整を行なうことができます。座席の取付けや調整について、ご不明な点はSTRIDA代理店または専門店には問い合わせ下さい。

JP

使用上の注意

トラブルシューティング チェック :

一.乗車中、座席が不安定で動く場合

- 1.Q/Rレバー(part no.359-1)が正しく調整されていること。
確実に固定されていることを確認して下さい。
- 2.サドルが正しくベースに取付けられていること。確実に固定されていることを確認して下さい。
- 3.Q/Rクランプ(part no.321-2)が正しく噛み合っていることを確認して下さい。
- 4.シートピンが正しく固定されていること。破損していないことを確認して下さい。

二.Q/Rロッキングマウント(part no.390)をセッティングする際の注意点

- 1.Q/Rロッキングレバー(part no.390-1)をセッティングして、Q/Rロッキングマウント
が正常に内外へ動かすとバネが正常に収縮することを確認して下さい。
- 2.シートピンが真っすぐで、破損していないかをご確認下さい。ピンの周りに少量の
グリースを塗ることでスムーズに機能します。
- 3.Q/Rロッキングマウント(part no.390)はいずれの方向でも取付けできます。セッテ
ングしやすい側で取付けて下さい。
- 4.シートピンに合うQ/Rロッキングマウント(part no.390)の穴をご確認下さい。
- 5.正しく取付けできない場合は、新しいQ/Rロッキングマウント(part no.390)とシ
ートピンを交換して下さい。

三.Q/Rロッキングレバー(part no.390-1)がフレーム(リアチューブ)に正しく固定でき ない場合

- 1.Q/Rロッキングマウント(part no.390)とシートモールディングが正しく取付けられ
ていることをご確認して下さい。
- 2.サドルとシートモールディングを搖れ動かして確認して下さい。
- 3.ピンホール角度が合っていない。(この状況では、新しいQ/Rロッキングレバー
(part no.390-1)とシートピンを交換しないでQ/Rシートを取付けることはお勧めで
きません。)

四.Q/Rレバー(part no.390-1)が確実に固定できない場合

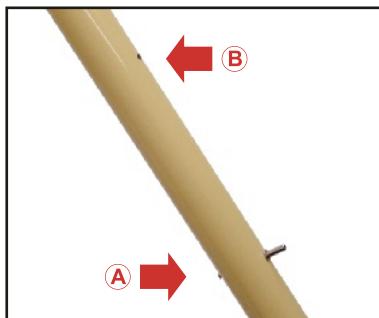
- 1.Q/Rレバーが正しく固定されていること。調整されていることをご確認下さい。
- 2.ナイロンワッシャーが壊れていないか、脱落して無くなっていないかご確認下さい。
- 3.Q/Rレバーの車軸やナイロンワッシャーが損傷している場合は、新しいものに交換
して下さい。

五.高さ調節の際、シートモールディングがスムーズに上下できない場合

- 1.Q/Rロッキングレバーとマウント(part no.390 and 390-1)が安全に引き抜かれてい
ることをご確認下さい。(シートチューブの前方90度の方向)
- 2.サドルとシートモールディングを左右に搖れ動かして下さい。
- 3.Q/R調整ナットをわずかに緩めて下さい。
- 4.シートモールディングを再度、調節して下さい。

注意事項 組立部品の確認と部品型番

お客様の身長にあわせた位置にシートピンを入れて下さい：



2mmのアーレンキーを使用して
・適正なシートピン穴を選択し
・シートピンを固定して下さい。

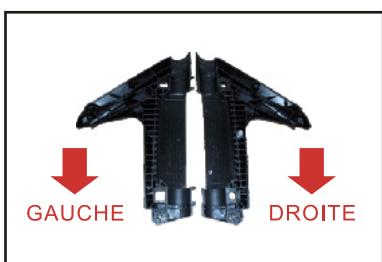
Ⓐ 身長1m45cmから1m75cmまでの方は、
下側のシートピン穴をお使い下さい。

Ⓑ 身長1m75cmから1m93cmまでの方は、
上側のシートピン穴をお使い下さい。

乗車可能最低身長：1m45cm乗車可能最大身長：1m93cm。

Q/Rシート構成部品：

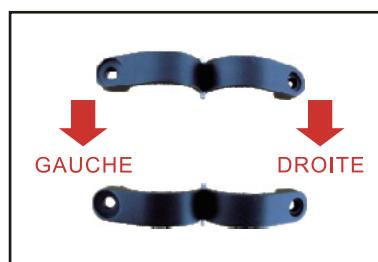
JP



Q/Rシートモールディング(左右)
Part no.322-4



Q/Rロックリングマウント
Part no.390



Q/Rクランプ
Part no.321-2(Q/Rレバー用. 大穴)



Q/Rレバー
Part no.359-1



Q/Rロックリングレバー
Part no.390-1



Q/Rロックリングレバー
"C"スロット安全装置
Part no.322-4-2



Q/R六角固定ねじ
Part no.360-2

使用上の注意

取付け方法：



シートピンが完全に締まっているかをご確認下さい。
(2mmアーレンキー使用)



Q/Rロッキングマウントをシートピンに挿入してリアチューブに、はめ込んで下さい。



Q/Rロッキングレバーを上方向から左右のみぞにそわせてスライドさせ仮取付けしてからロッキングマウントが上下に動くことを確認します。その後ロッキングレバーは外します。



Q/Rグランプを開いて左右のシートモールディングを分離します。



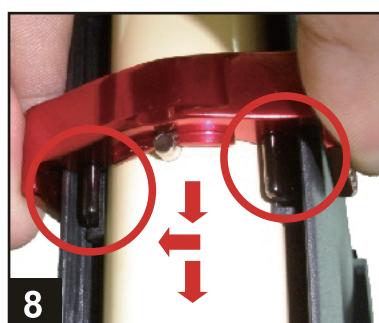
右側のシートモールディングを取り付けますQ/Rロッキングマウントのはめ込み位置はシートモールディングの中央部分が標準です。



左側のシートモールディングを取り付けて下さい。



4mmのアーレンキーを使用して固定ねじを締付けます(ねじの頭は丸型)。
(締付けトルクは(10kgf/cm/1Nm)



Q/Rロッキングマウントの左右のみぞに、Q/Rロッキングレバーを上方向からスライドさせてはめ込みますかたい場合は上から軽くたたいてピンが隠れる位置までスライドさせて下さい。



Q/Rロッキングレバーが正しい位置にあることを確認して下さい。ピンが隠れる位置までスライドさせて下さい。

JP

JP



シートモールディングのフック部にQ/Rクランプのヒンジ部をはめ込んでから左側からQ/RクランプとQ/Rレバーを取り付けて下さい。(左側は大の穴)



Q/Rナットを締め込みながらロックの強さを調整して下さいそしてQ/Rレバーを操作して固定して下さい(2箇所)確実に固定されていることを確認して下さい。



Q/Rシートモールディングにサドルをはめ込んだあとサドルを前後に動かして位置を調整して下さい。



シートモールディングの穴に付属のアレンキーを入れて下さい。



シートモールディングの右側からサドル固定ボルトを固定金具を介して入れて下さい。



13mmのスパナでナットを締付けて下さい締め過ぎないように注意して下さい。



Q/Rロッキングマウントのみぞに沿う箇所に、Q/Rロッキングレバー安全装置"C"スロットをスライドさせて下さい。その後Q/Rロッキングレバー上にフックを押し込んで固定して下さい。



Q/Rロッキングレバー安全装置(Part no.322-4-2)が正しい位置に取付けられていることをご確認下さい。



Q/Rレバーが適正に調整されていることをご確認下さい確実に固定されていることを確認して下さい。

使用上の注意

使用方法と調整方法：



キャリアを上方向に上げて下さい。



下部のQ/Rレバーを開いて下さい。



上部のQ/Rレバーを開いて下さい。



サドルを左右にゆらして下さい。



Q/Rロックレバーを90度引いて下さい。



Q/Rシートモールディングの高さを調整してください(リアチューブにすべらすように)。



Q/Rレバーが、かたく締めすぎている場合は、Q/Rねじをゆるめて調整して下さい。



Q/Rロックレバーはリアチューブに対して、完全に密着しないなればなりません。



Q/Rシートモールディングの高さ調整後は、Q/Rレバーが確実にロックされていることをご確認下さい。



www.strida.com
2010 strida ltd